

第二十二回帝國議會 衆議院 國債整理基金特別會計法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十九年一月二十九日午後一時二十二分開議

出席委員左ノ如シ

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 長谷場 純孝君 | 改野 耕三君  | 渡邊 修君   |
| 多田 作兵衛君 | 菅原 傳君   | 齋藤 珪次君  |
| 松本孫右衛門君 | 上埜 安太郎君 | 鈴木 藤三郎君 |
| 北村 左吉君  | 漆 昌巖君   | 宮崎 榮治君  |
| 竹田 千代足君 | 立川 雲平君  | 大石 正己君  |
| 藤澤 幾之輔君 | 角田 眞平君  | 守屋 此助君  |
| 西村 眞太郎君 | 合田 福太郎君 | 尾形 兵太郎君 |
| 藻寄 鉄五郎君 | 望月 長夫君  | 高梨 哲四郎君 |
| 兼松 熙君   | 岡田 治衛武君 | 鈴木 總兵衛君 |
| 濱田 國松君  | 横田 虎彦君  | 荒川 五郎君  |
| 國谷 亨君   | 島田 三郎君  | 淺野 陽吉君  |
| 波多野傳三郎君 | 鵜飼 退藏君  | 小田 貫一君  |

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣法學博士 阪谷 芳郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 若槻禮次郎君

大藏書記官 市來 乙彦君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國債整理基金特別會計法案(政府提出)

非常特別稅法中改正法律案(政府提出)

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ國債整理基金特別會計法案外一件ノ委員會ヲ開キマス、其前ニ當テ一言申上ケテ置キマスガ、大藏大臣ハ今日據處ナイ用ガアルサウデゴザリマス、ソレデ暫ク此委員會ニ列シテ、大體ノ説明ヲシテ置イテ、其濟次第ニ此席ヲ缺席シテ、他ノ公務ヲ辨ジタイト云フコトデゴザリマスカラ、御注意迄ニ申上ケテ置キマス

○大石正己君 此問題ハ隨分ヤカマシイ問題ニナッテ居リマスカラ、豫算委員會デ大體ノ御説明ハ承ッテゴザリマスケレドモ、尙一ツ具體的ニ其利害ハ申スニ及バズ、減債基金ノ制ガ定ッタ以上、運轉ノ方法其結果ニ付イテ當局者ノ見込竝ニ此減債基金ノ制ヲ設ケラレタト云フニ至ッタ、若シ歴史ガアルナラバ、ソレモ參考ノタメニ承ッテ置キタイ、或ハ又世評スルガ如クニ外債ヲ募ル際ニ、多少斯ウ云フ制デモ設ケルト云フ約束ニ似タヤウナモノデモアルト云フヤウナコトナラバ、ソレモ參考ノタメニ必要アル、何分此問題ハ餘程十分頭ニ入レナケレバ贊成ノ出來兼ネル問題アル、ドウゾ今日十分ニ運用上ノ

説明ヲ願ヒタイ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 國債整理基金特別會計法ニ付イテ大體ノ考ヲ申上ゲマス、御承知ノ通ニ、日露ノ戰役ノタメニ今日既ニ生ジタコロノ國債ノ高ハ、十二億八千萬圓カラニナッテ居リマス、此外ニ煙草專賣法ニ付キマシテ、國債ヲ發行致シテ居リマス、是ハ別ニナッテ居リマス、今日日露ノ戰役ニ直接關係シタコトニ付イテノ公債ノミガ、十二億八千萬圓、ソレカラ此度ノ豫算デ既ニ説明ヲ申上ゲマシタ通ニ、臨時軍事費ノ特別會計ノ不足、竝ニ戰役ノ關係シテ生ジタ臨時ノ費用ノ、尙三十九年度ニ要シマスモノニ付キマシテ、四億三千万圓ノ公債ヲ發行スルト云フ計畫ニナリマス、此四億三千万圓ト云フモノハ、前度豫算會デ説明致シマシタ通、三十九年ニ於テ政府ノ費用ガ總體ヲ通ジマシテ十億三千万圓、其十億三千万圓ノ内、既ニ支出ガ切迫致シテ居ルタメニ、去ヌル十二月ニ豫算外ノ支出ヲ致シタモノガ、八千八百萬圓アリマスカラ、即チ豫算トシテ議會ニ協賛ヲ求メタモノハ、九億幾ラニナリマスガ、併ナガラ總體ニ於テハ十億三千万圓ト云フ數ニナル、此内ソレノ財源ヲ立テ、差引日露ノ時局ニ關スル費用ハ八億圓餘ノ内、四億三千万圓ト云フモノガ公債ノ支辨ニ依ルト云フ計畫ヲ立テタノデアリマス、之ヲ募集致シマス際ニハ、多少金利ノ關係カラシテ、百圓ノモノガ或ハ百圓募集ガ出來ヌト云フコトニモナリマセウ、一割落チルカ、或ハ五分落チルト云フコトガアリマスカラ、四億三千万圓ト云フモノガ、實收金額ヲ公債ノ額面ニ直スト殖エルコトニナリマス、サウ、致シマスルト、凡ソノ公債ノ額ハ三十九年度ノ豫算ノ計畫ヲ實施シマス、約十八億ト云フモノニ達シャウト考ヘマス、是ハ全ク日露ノ戰役ニ付イテ生ジタ止ムヲ得ザルトコロノ費用デアッデ、是ダケノ公債ハ詰リ今日ニ於テハ免カレヌ、斯ウ云フコトニナリマスノデゴザリマス、ソレデ其十八億ノ借金ヲ如何ニ處分スルカト云フコトガ、此戰役ノ財政處分ニ於テ、先づ第一ニ決シナケレバナラヌ問題デゴザリマスノデ、即チ此十八億ノ公債ノ處分ヲ著ケルカタメニ、年々一億一千万圓ノ公債元利仕拂ノタメニ資金ヲ支出スルト云フコトニ極メマシタノデアリマス、デサウ致シマスルト云フト、先づ初年ニ於キマシテ凡ソ二千万圓位ノ償還ガ出來マシテ、詰リ三十箇年ニハ殘ラズ此償還ガ濟ムト云フ勘定ニナル所ガ此豫算委員會デモ質問ノアリマシタヨウニ、既ニ三十九年度ニ於テハ一方ニ四億三千万ト云フ公債ヲ募リ、一方ニ償還スルト云フハ、ドウ云フ譯デアラウカ、寧ロ償還ラ省イテ募債ヲ減ジヤドウカト云フヤウナ御説モアリマシタガ、此公債ノ價格ヲ維持スルト云フコトガ將來財政ノ上ニ付イテハ、極メテ必要ナコトアル、一方ニ四億三千万ノ公債ヲ發行シテ、其儘ニ放任シテ置イタナラバ、必スヤ内地ノ市場ニ於テ公債ノ直ガ下ルト云フコトハ免レヌ、即チ此四億三千万ノ内凡ソ一億五千万圓ハ論功行賞ノタメニ、勳功アル人ニ賜ハル勘定ニナリマス、其分ハ一旦大藏省ノ預金部ニ引受ケテ之ヲ陸海軍ニ賣渡シ陸海軍ガソレヲ論功行賞ニ當ッタ人ニ渡スノデアリマスガ、此一億五千万ノ公債ヲ受取ッタ人ガ、中ニハ生計ノ都合其他ノ關係カラ賣ル人ガアルニ相違ナイ、賣ル人ガ殖エレバ公債ノ下落スルト云フコトガアリマスカラ、一方ニ於テ買上

ゲテ償還シテ往クト云フ手段ガナケレバナラヌ、ソレデ一億千万圓ト云フト大キナ金高ノヤウデ、アルケレドモ、元金ノ十八億ト云フモノヲ考ヘレバ、年々償還シテ往クトコロハ、即チ二千万圓デ、此公債ノ處分ヲ著ケル上ニ付イテハ、最少限ノ金額デアラウト考ヘマス既ニ豫算委員會デ一億五千万圓位、ナサチヤドウカト云フ御質問ガアタヤウデアリマスルガ、ソレハ償還金ガ多ケレバ多イ程宜イニ相違ゴザイマセヌケレドモ、今日ノ場合ニ於テ一億千万圓ト云フハ、最少限ノ金額デアラウト考ヘテ居リマス、ソレデ今日ノ財政ノ有様ノ上ニ於キマシテハ、公債ノ處分シテ往ク十八億ノ公債ヲ如何ニ處分セラレ、カト云フコトハ、内外人共ニ皆心配シテ居ルコトナデ、殊ニ外國人ノ如キハ此十八億ノ公債ノ中ノ過半ヲ引受ケテ居ルノデ、即チ今日ニ於キマシテモ、十億以上ノモノガドウシテモ海外ニアリマスノデゴザイマスカラ、此外國ノ日本ノ公債ヲ持ッテ居ル人ハ、日本ノ國勢ニモ通ゼズ、日本ノ財政ノ事ニモ通ゼズ、唯此日本ハ戰捷國デアルト云フコトデ、因ッテ此公債ハ今ハ所有シテ居ルノデアリマスカラシテ、其公債ノ償還ノ方法ト云フモノガ明カナラザル以上ハ必ズ心配スルト云フコトハ、外國人トシテ無理ナラヌコトデアラウト考ヘル、又內國ニ於テモ有價證券ヲ所有シテ居ルコロノ人々ト云フモノガ、十八億ノ借金ハ將來ドウナルカト云フコトヲ皆心配シテ居ル、如何トナレバ株券類ノ價格ト云フモノハ、始終公債ヲ以テ標準ト致スノデアルカラ、政府ノ公債ガ若シ下落致シマスレバ、從ッテ他ノ株券類ト云フモノガ下落スルト云フコトハ免レナイ、公債ノ價格ガ昂レバ、從ッテ利子ガ低クナッタト同ジ計算ニナリマス、即チ金利ガ下ガッテ來レバコソ總テ有價證券ノ價格ガ維持セラレ、金融界及順潮ニナッテ、初メテ事業ト云フモノガ安全ニ進行スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、即チ此十八億ノ借金ノ始末ガドウナルデアラウカト云フコトハ、内外ノ人ニ於テモ又深ク心配シテ居ル所デアル、是ノ如ク内外人共ニ不安ノ念ヲ抱イテ居ルトコロノ公債ノ處分方法ト云フモノニ付イテハ、明カニ之ニ據ルベキノ方法、一定不變ノ方法ヲ示シテ、此財政ノ基礎ヲ鞏クスルト云フコトハ、極メテ必要デアリマス、即チ日本ノ財政ト云フモノハ、鞏固ナルモノデアル、日本ノ公債ヲ所有シテ居ルモノハ、決シテ損ヲスルトコトハナイト云フコトガ明ニナルニ、從ッテ段々此公債證書ノ値ガ好クナリマス、從ッテ今ノ外資輸入デアルトカ、或ハ將來滿韓ニ起ルトコロノ事業、是等ノ事業ニ付キマシテモ、或ハ大ナル會社ニナル場合モアリマセウシ、或ハ政府ガ韓國ノ事業ニ付イテハ、韓國政府ニ對スルトカ、若クハ其他ニ對シ保障ノ位置ニ立ツトカ、云フ場合モ、想像デアゴザイマセヌケレドモ、是ハ將來起ルベキ事デアラウト考ヘル、即チ滿韓ヲ經營スル上ニ付イテ非常ナルマダ金ヲ要スル、基金ト云フモノハ、詰リ信用ノ働キニ依ッテ之ヲ生ズルニアラザレバ、一々之ヲ租稅ニ仰グト云フコトハ非常ナル困難ナコトデアラウト思フ、サウシテ見マスルト、何レノ方面カラ考ヘテモ、現在ニ於テ内外人ニ對スル關係カラ見テモ、又將來ニ於ケル日本ノ事業ガ發展シテ往ク上ニ付イテ考ヘテ見テモ、今日ニ於テ國債ノ基礎ヲ鞏クシテ其信用ヲ維持スルト云フコトハ、非常ニ緊要ナコトニ屬シマスルノデ、即チ茲ニ公債整理基金ノ方法ヲ設ケタイト云フ考ヲ戰後財政計畫ノ第一着ニ置キマシタ所以デアゴザイマス、之ニ付イテ外國人ト約束シテアルカト云フ大石君ノ御尋デアゴザイマスガ、之ハ別ニ約束ト云フコトハアリマセヌ、但シ此日本政府ト云フモノハ、如何ナル場合ガアッテモ公債ノ信用ヲ缺クト云フヤウナコトハ決シテナイ、万々ナイ、ソレハ即

チ深ク安心セラレデ宜シ、即チ既往ニ照シテ見テモ、明治初年以來外國カラ借りタトコロノ公債ニ付イテハ決シテ利子ノ支拂トカ、元金ノ償還ヲ怠ツタト云フコトハナイ、將來ニ於テモ亦決シテ信用ヲ缺クト云フコトハナイト云フコトハ、固ヨリ明言シテアリマス、ケレドモ如何ナル方法デ基金ヲ置クト云フヤウナコトガ、三十九年ニ對スル財政計畫ノ要領ガ段々新聞紙ニ表ハレテ、ソレガ海外ニ傳ヅテ、ソレハ今日デハ固ヨリ外國人モ信ジテ居ルデアリマセウケレドモ、別ニ約束シテアルト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、併ナガラ海外ニ傳ハリマシタ減債方法ノコトハ海外デハ餘程歡迎シテ居ル、非常ニ此事ニ付イテハ贊成ノ意ヲ表シテ喜ビノ意ヲ表シテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、其事ハ既ニ倫敦カラ又此方ヘ電報ガ來テ、新聞紙ニモ表ハシテ居ルタト信ジマス、ソレハ即チ此國債ノ處分上、戰後ニ於ケル日本政府ハ十分健全ナル方針ヲ執ルト云フコトニ喜レタノデゴザイマス、ソレデ此整理基金ノ事ハ、法案其者ニ付イテ尙申添ヘテ置キタイト考ヘマスノハ、此法案ノ中ニ書イテアルコトノ中デ、皆様ノ今日マデ豫算委員會アタリテ起リマシタ御議論カラ窺ヒマス、一億一千万圓ト云フコトニ付イテノ疑ガ段々傳リニナッタヤウニ考ヘマス、法案其者ノ内容ニ付イテハ別段御議論ガアタヤウニ伺ッテ居リマセヌ、是ハ此法案其者ト云フモノハ、此一億一千万圓ト云フモノガ有ッテモ、無クテモ法案其者ハナケレバナラヌ法案デアリマシテ、詰リ此法案ハ何ノタメニ必要トスルカト云ヘバ、此國債ヲ整理シテ往クニ、一般會計法トシテヤリニクイトコロガアルカラ、特別ノ會計法ヲ以テ之ヲ整理スルト云フノガ、此法案ノ大體ノ主義デアル、ソレハ即チ此別ニ整理公債ト云フモノヲ起シマスカラ、其整理公債ト云フモノト、一般ノ政務ノ費用トハ區別ヲシナケレバナラヌモノデアリマス、即チ昨年ノ暮ニ歐羅巴、亞米利加デ起シマシタ公債ノ如キ、一般會計ニ繰入レテ置クト云フコトハ、三十八年度ト云ヘバ、最早時ガゴザイマセヌカラ、止ムヲ得ズ入レマシタケレドモ、非常ノ大支出デ、膨脹スルダケデ、一向無意味ナコトニナリマス、ソレデハ此整理公債デ募集シタモノハ、別段ノ特別會計ヲ以テ之ヲ整理スルト云フコトガ當然ナコトデ、是ニ付イテ皆サナンノ御議論アラウ答ガナイト考ヘマス、又此特別會計ノ中デ運用スル手段方法ト云フモノハ、詰リ倫敦、巴里、亞米利加、伯林等ニ置イテアル金ト云フモノハ、元金ヲ償還スルマデ成ルベク無駄ニ遊バシテ置カズニ英蘭銀行ナリ、若クハ英國政府、獨逸政府ノ發行スル大藏證券ト云フモノ、是ノ如キ確實ノモノデ運轉シテ、サウシテ少シデモ利息ヲ生ゼシメテ、國庫ノ利益ヲ圖ルト云フ、即チ運用ノ方法ト云フモノ、規定ガアリマスガ、是モ別ニ御議論ノナイコトデアル、ソレカラシテ政府ハ將來公債ヲ借換ヘテ參ル場合ニ、低利ノ公債ヲ發行シテ、高イ利息ノ公債ハ還シテ往クト云フ規定デアル、是モ御議論ノナイ事デ或ハ國債整理處分其モノ、必要、竝ニ内容ニ付イテハ、私ハ御議論アラウ答ガナイト信ジテ居リマス、即チ普通一般ノコトデアル、唯是ニ付イテ御議論アルノハ、一億一千万圓ト云フ關係デアラウト考ヘマス、即チ此一億一千万圓ト云フ整理基金ヲ要スル理由ヲ、チヨット御話致シテ置キマスガ、既ニ此整理公債金ト云フモノハ、別ニ特別會計ニナッテ居リマスレバ、一般會計ノ方デ持ッテ居ル公債ノ元利ノ金モ、一緒ニシテ運用スル方ガ大變ニ運用ノ範圍ガ廣クナッテ便利ニナリマス、ソレ故ニ此一般會計デ以テ要求シテアル公債元利金ト云フモノハ、一旦一般會計デ拂出シテ、整理公債ノ金ト一緒ニシテ、公債ノ元利ヲ拂ヒ、又買上ヲスル即チ同ジ一億

一千万圓ヲ、ヨリ強ク働カセルト云フ必要カラ、特別會計ニ合併スルト云フコトデアリマス、是モ亦諸君ニ於テ御論ノナイコトデアラウト考ヘマス、唯會計ノ整理法デ、一般會計ヲ整理スルト、特別會計ト一緒ニシテ整理公債ノ金ヲ運轉シテ往クガ宜イト云フコトハ別ニ言ハヌデモ分タテアル、小サイモノヲ運轉スルヨリ、大キクシテ運轉スル方ガ、同ジ金デモ、金ノ力ガ強クナル、是ハ誠ニ單純ナ話デゴザイマスカラ、此事ニ御論ガナカラウト考ヘマス、唯一億一千万圓ヲ公債ノ元利ニ充テルト云フコトガ、詰リ最後ニ殘ル議論デアラウト考ヘマス、故ニドウガ此點ハ明カニ御了解ヲ望ミマス、特別會計其モノト、年々一億一千万圓ト云フモノヲ豫算カラ入レテ往クト云フコトハ、最モマルデ別物デアリマス、而シテ一億一千万圓ヲ年々極メテ往クト云フコトノ必要ニ付イテハ、前ニ大體説明ヲ致シマシタ通、詰リ十八億ノ戰後ノ公債處分ト云フモノ、中ニ於テ、元金二千万圓位ヅ、減シテ參ルノハ通常ノコトデ、又他日國家有事ノ日ニ於テ、國ノ獨立上十分ナル餘力ト云フモノヲ養フト云フ必要カラ考ヘテモ、年々二千万圓位ヅ、減シテ參ルノハ、十八億ノ元金ニ對シテ當然ノコトデアラウト思ヒマス、即チ一億一千万圓ヲ、公債ノ元利ヲ仕拂フ元ニ充ツルト云フ必要ハ、今申述ベマシタ事デ盡シテ居ルト考ヘマス、又此會計法ト云フモノ、運用ノ上ニ於テ、必要止ムヲ得ヌト云フコトモ、御了解下スツタラウト考ヘマス、ソレカラ此増租ノ繼續法案ノ事ニ付キマシテ、是モ極ク簡單ナ法案デアリマスカラ、大體申述ベテ置キマスガ、詰リ二十九年ニ於ケル日露戰役ニ關シマスル費用ハ、八億デ而シテ其……

○島田三郎君 私ハ是ハ餘程重大ナ問題デアルト思ヒマス、然ルニ簡單ナ法案デアルカラ、チヨットヤデ置クト、附録ノ如キモノト看做スハ甚ダ遺憾デアル、今ハ國債ノタメニ開カレテアルノデ、斯ル重大ノ問題ヲ——吾々ノ重キヲ置イテ居ル精神ト違ヒマスカラ、繼續ノ方ハ繼續ノ方デ辯スルヤウニ望ミマス

○委員長長谷場純孝君 先刻ノ宣告ハ、國債整理基金外一件ノ委員會ヲ開キマスト云フコトヲ宣告シマシタ

○島田三郎君 然ラバ改メテ申シマス、外一件ト云フデモ、一億一千万圓ト云フ大問題デアル、若シ左様ニ聽イテ居レバ、私ハソレニ向ッテ異議ヲ申立テル積デス、他ノ諸君ハ如何ニ考ヘラルカ知リマセヌガ、私ハ何所迄モ嚴肅ニ二ツ共ニ重大ナモノデアルニ、外一件ト甚ダ其意ヲ得マセヌ

○委員長長谷場純孝君 外一件ト言ッタハ、議院ヨリ其通り附託サレテアルカラ、尤モ嚴肅ニスルコトハ私モ希望致シマス、ドウカ誤解ノナイヤウニ願ヒマス

○島田三郎君 私ハ個人トシテ其通り申シマス

○大石正己君 是ハ錯雜ヲシマスカラ、矢張一ツノ片附ケタ方ガ宜シカラウ

○島田三郎君 又彼ニ付イテ質問モ出マセウカラ、ドウカツレハ委員長ガ改メテ宣告ヲ仕直ホシテ戴キタイ

○委員長長谷場純孝君 非常特別稅法中改正法律案ノ説明ハ、後トデスルト云フ大藏大臣ノ御話デアリマスカラ、前ノ國債基金特別會計法案ニ付イテ質問ガアリマスカラ、コレカラ始メマス

○小田貫一君 私ハイロ／＼質問ガアリマス 大藏大臣ノ御演說ハ能ク分リマシタガ、

尙豫算委員會ニ於キマシテモ、イロ／＼質問ガアリマシテ、是ニ對スル御答辯モアリマシタガ、政府ノ意ノ在ルコトコロハ能ク——トハ申シマセヌガ略々了解シマシタガ、唯今御辯明ニナリマス如ク、此事ニ付イテ、大藏大臣ノ言ハル、如ク果シテ其目的ヲ達スルヤ否ヤト云フ、大體ノ疑問ガアル、即チ十八億ノ公債ニ對シテ、内外共ニ是ヲ如何ニスルヤノ疑懼ヲ抱イテ居ル、即チ信用ノ如何ニ關係スル問題デアル故ニ、此信用ヲ維持スルタメニ、此案ハ必要デアルト云フコトガ一ツデアル、ソレカラ此案ノ如ク實行ヲ致シマシテ、果シテ大藏大臣ノ言ハル、如ク、内外ニ信用ヲ得ラル、ヤ否ヤト云フコトハ、私ノ了解シ兼ネルトコロデアリマス、何トナレバ、此案ハナシ崩シヲ以テ借金ヲ拂フト云フ仕組ガアルト云フコトヲ内外ニ示スノダラウト思フ、ナシ崩シ法ヲ以テ二十五箇年若クハ三十箇年ニ基金ヲ募ツテ、是ヲ以テ御前ニ借リテ居ル借金ヲ拂フト云フ、信用ヲ得ルニ止マルト思フ、此ナシ崩シヲ以テ國債ヲ拂フト云フコトガ、果シテ信用ガ得ラレカ否ヤト云フコトハ、大問題デアラウト思フ、財政ノ鞏固ニ信用ノ鞏固ニナツテ、文明國ノ仲間入ヲスル國ナラバ、隨時償還ト云フ信用ガナケレバナラヌモノデアラウト思フ、又政府トシテハ隨時償還ノ信用ヲ得ルコトニ努メナケレバナラヌト思フ、然ルニ隨時償還ノ信用ヲ危ンデ、自カラ支那其他朝鮮ノ以前ノ如キモノト相伍シテ、吾々ノ借錢ハ是ノ如クナシ崩シ法ヲ以テスルカラ、宜シク信用スベシト云フコトヲ發表スルコトハ、其目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトガ、疑問デアリマス、次ニ公債價格ノ維持ト云フコトデアリマス、是モ經濟財政ニ付イテ幼稚ナル國民ナラバ或ハ此案ガ成立致シマシタコロデ、價格ト云フコトニ付イテハ多少信用ヲ措クカ知リマセヌガ、併ナガラ内部ニ立到リマシテハ、金ノ問題デアル、即チ金ノ多少ノ問題デアル、所ガ單ニ本案ヲ見レバ一億一千万圓ハ大キナヤウニ見エマスガ、其内部ニ立到ルト此ナシ崩シ法所謂積立基金ハ幾ラカト云フコトハ誠ニ御耻カシイ、即チ一億一千万圓ヲ一般會計ヨリ特別會計ニ繰入レルノハ、大キイウデスガ、一億一千万圓ノ中、戰時以前ノ公債ノ利子ガ三千万圓カ籠テ居ル、ソレカラ戰時ノ（ソレハ違ッテ居ル）ト呼フ者アリハ公債ノ利子ハ殆ド八千万圓要ルト思フ、數字ノ上ニ多少違ヒガアルカ知リマセヌガ、私ハ豫算委員デアリマセヌカラ……サウスルト其一億一千万圓ノ内デ基金ト云フモノハイクラカト云フト、二千幾百萬圓カ三千万圓ニ止マルデアアル、三千万圓ヲ積ンデ公債ノ價格ガ維持出來ルヤウナ、幼稚ナル經濟社會デアアルカト云フ疑問デアル、是ノ如キモノニハドウモ信用ヲ措クコトハ出來難イコト、思ハレル、サウスルト此案ノ折角大藏大臣ノ御辯明ノ趣意ハ宜シイガ、結果ハ反對トナツテ、或ハ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイヤウニナリハシナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス

○角田眞平君 幾年デ濟ミマスカ、チヨット伺ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 三十箇年デス——ソレカラ唯今ノ御質問ニ御答致シマスガ、隨時償還ト云フ御尋デアリマスガ、隨時償還ト云フコトハ少シ意味ガ違ヒハシナイカト考ヘマスルノハ、此度ノ整理法案ニ付キマシテハ、矢張隨時償還タルコトハ、毫モ失ハヌデアリマス、向フノ金主ト年賦償還ト云フコトヲ約束スル譯デハナイ、即チ隨時ニ政府ガ市場ノ景況ヲ見テ償還スル公債ノ性質ト云フコトハ失ハヌ、併ナガラ財政ノ根本ニ於テ、年々一定ノ金額ヲ組入レテ償還シマスレバ、市場ハ、ソレガタメニ大變安心スルコトニナル、年々公債ガ減ルカラ公債ニ付イテハ所持シテ居ル人ハ價格ハ上ルト

云フ希望ヲ持テ居ルノデスカラ、ソレガタメニ此非常ナル效能ガアリマス、決シテ年賦ナシ崩シノ約束ヲ債主トスルコトハ毫モゴザイマセヌ、又隨時償還ト云フコトハ、財政ノ都合ガアツタ時分ニ償還スルコト云フナラバ、何レノ日ニ償還サレカ、譯ガ分ラヌカラシテ、サウ云フ公債ノ償還法ハ、何レノ國ニモアリマセヌ、凡ソ公債ヲ借りタ以上ハ還ス方法ハ立ッテ居ル、ソレカラシテ此中ニハ永久公債モアリマスレドモ、永久公債モ矢張一方ニソレヲ買上ケルトカ償還スルコトカノ計畫ハ立ッテ居ル、立ッテ居ラヌ國ハ財政ノ紊亂シタ國デツレハ非常ナル壓迫ヲ他ノ國カラ受ケルコトニナルノハ、歴史ガ證明シテ居ル、何レノ國ガ壓迫ヲ受ケテ、何レノ國ガ財政ヲ紊亂シテ居ルカト云フコトハ、茲ニ明言スル必要ハアリマセヌ、借金ノ始末ヲスルコト云フ方法ハ何レノ國モ立ッテ居ル、ソレヲ立ッテカラト云フデ、年賦償還ノ約束ヲ廢サウトスルノデナイ、矢張隨時償還アルガ、財政ノ計畫ヲ一定不動ニスルニ止マルノデアリマス、價格ノ維持ト云フコトニ付イテハ、是非非常ナル効力ヲ持ット信ジマス、若シ整理基金ヲ置カズニ、一切償還ニ付テハ手ヲ著ケヌト云フ計畫ヲ取ッタナラバ、非常ナル打撃ヲ市場ニ與フルハ明カニ保證ガ出來マス、今日戰後條約ノ結果、賠償金ヲ受取ラヌト云フヤウナコトガ傳ジテスラ、一時内外共多少公債ノ價格ノ上ニ、影響ヲ被ッタノデアリマスケレドモ、續イテ公債ノ整理償還ニ付イテハ、十分ナル計畫ヲ立ッテ、財政ノ鞏固ヲ圖ルト云フコトノ意思ガ内外ニ明カニナッテ以來、大變ニ公債價格ヲ持直シテ參リマシタ、現在海外ノ市場ニ於テモ、亦内地ノ市場ニ於テモ、公債ノ直段ハ騰貴シ、アリマスノデ、是ハ一億一千万ト云フ數字ヲ知ッテ居ル者ハ、幾分ガ利足ニ向フコト云フコトハ、公債所持人ハ知ッテ居リマスカラ、ソレハ財政大體ノ上ニ於テ、サウ償還ノ金額ヲ急ニ殖スコトハ六ヶ敷イ、ソレ故ニ只今ノ御問ニ對シテハ、價格維持ノ效力ハ十分アルト御答ヲ致シマス

○大石正己君 露西亞或ハ伊太利、埃斯太亞ナドノ借金國、ア、云フ處ハドウ云フヤウニナッテ居リマス、ドウ云フ制ニ依テ償還シテ居リマス、チヨット參考ノタメニ承リマス、ソレカラ大藏省ノ御計畫ハ、説明ニ依テ分リマシタガ、御見込ハドウ云フモノデアリマス、一面ニ大キナ借金ヲシ、一面ニ小サイモノヲ拂ッテ往クト云フコトデ、信用ヲ維持スルコト云フ方ガ確實ノモノデアルカ、一面借リシ、アル間ハ、借ル方ヲ小サクシテ一方ニ拂ハナケレバナラヌト云フヨリ、元ヲ借ルヨリ寧ソ借ラヌ方ニシテ居タ方ガ信用ヲ維持スルモノデアルガ、ソコガ世間ノ疑問ニナッテ居ル、ソレカラ今ノ貳千萬參千萬ノ金ヲ以テ、相場ヲ維持スルコト云フコトハ、餘程疑問ト思ヒマス、是ハ見込ニ依ル、維持セラル、維持セラレヌ、ト云フハ見込ニ依ルガ、外ニサウ云フ例ノ無イモノデアルカ、斯ウ云フ大キナ國債ニ向ッテ相場ヲ維持スルタメニ資金ヲ入レテ居ル、借リテ居ル金ト拂ッテ居ル金トノ比較ガアルト思ヒマス、モウ一ツ露西亞ナドハ開ク所ニ據レバ大キナ借錢ヲ持ッテ居テ、其相場ヲ維持スルタメニ、或ハ白耳義其他ノ銀行ヘ金ヲ預ケテ、其相場ヲ釣ッテ居ルト云フコトヲ承リマス、茲ニ一ツ考ヘナケレバナラヌコトハ、露西亞ノヤウナ專制國デ、全ク豫算モ分ラズ、幾ラ金ガアルカ知レヌト云フ、雲ノ中カラ支出スル時ニハ餘程相場ヲ繰ル上ニ於テ便利カ知レヌガ、日本ノ財政ノ制ニ依ルト、參千萬今年貳千萬ガ明カニナッテ居ルカラ、サウ云フ例ノ如クニ甘ク相場ヲ維持スルコトガ出來ル、御見

込アルカドウカ、吾々ハソレヲ疑フ、サウ云フコトニ付イテ、互ニ見込ヲ言フタトコロガ果シテノイモノデアルガ、其例ガアルナラバ、御示シニ與ルト便利デアルト考ヘマス

○政府委員法學博士阪谷芳郎君 此一方ニ募ッテ一方ニ償還スルコト云フコトニ付イテノ利害ノ御尋デアリマスガ是ハ金高ノ小サイ場合ニハ、議論ヲ爲サヌト考ヘマスガ、先刻申シマシタ通り、四億三千万ノ公債ヲ、市場ニ發行シナケレバナラヌ、其中一億五千万ハ、是ハ功勞ノアツタ人ニ渡ス、其渡ス分ハ、資金ヲ市場カラ取ルノデナイ、唯證書ヲ渡ス、實ッタ人ハ市場ニ賣出スコトハ恩賜金デアリマスカラ、成ルベク子孫ニ傳ヘヨト云フ趣意ニナッテ居リマスガ生計ノ都合其他デ賣出スコトノアルハ免レナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テハ、ドウシテモ市場ニ賣物ヲ減ス工夫ヲ一方ニ講ジナケレバナラヌ、即チ減債ト云フコトガ同時ニ必要ニナッテ來ル、我國モ明治九年、華士族ノ家祿ノ金祿ニ直シタトキニ、壹億五千萬カラノ公債ガモット大キカッタガ、急ニ出シマシタ、是ハ證書ヲ渡シマシタ、其場合ニモ矢張買上ヲ實行致シマシタガ、是其當時大藏省ノ力ガ弱カッタノト、我國ニ於テ公債證書ト云フコトハ、例ノナイコトデ、公債證書ハドウ云フモノデアルカト云フヤウナ時代デアリマスカラ、餘程價格ノ維持ニ苦ミマシタ、ケレドモ一時ハソレデ價格ヲ維持致シマシタガ、今日ハ金融市場モ大キクナッテ居リマスシ、外國市場トノ關係モ有リ、凡ソ相當ノ金額ヲ國庫ガ持ッテ、市場ノ調理ヲ計リマスレバ、公債證書ノ價格ノ維持ハ出來ルト考ヘテ居リマス、是ハ亞米利加ニ致シマシテモ、銀行者ノ間ニ斯ウ云フ事ヲヤッテ居ル、亞米利加ハ公債ガ非常ナ大キナ物デアリ、外ニ株券ノ如キモ非常ニ多クシテ、其相場ガ動キマス皆ガ迷惑ニナルコトデアリマスカラ、ソレデ銀行者ノ間ニ一種ノ積金ガアツテ、其積金ヲ以テ或特別ナル政變等ノ場合ニ、市場ガ打撃ヲ受ケル時ニ、其打撃ヲシテ成ルベク度ヲ低カラシメ、其回復ヲ速ナラシムルタメニ、其資金ヲ使用シテ居ル、且ツ三十九年ニ於ケル如キ、大イナル公債ヲ發行シヤウト云フ場合ハ、ドウシテモ一面ニ募集シ、一面ニ買上ケテ行ク兩様ノ手段ヲ並用スルガ必要ト考ヘマス、外國ノ例ニ付イテノ御尋ハ、是ハ隨分國々デ或國ノ如キハ、財政上ニハ往々失敗シタ話ガアリマシタリ致シマス、此外國ノ例ノコトノ御話ニナリマス、ト云フ、大分話ガ横ノ方ニ這入ルヤウデゴザイマス、デ是亦別ノ場合ニ讓リマセウガ、外國デモ償還ト云フコトニ付イテノ資金ハ、元ヨリ皆置イテアルノデ、償還ヲ怠ツタ場合ニ付イテハ、非常ニ御列舉ニナリマシタ國々ニ於テモ、非常ナル非運ニ陥ッタコトガアリマスノデ、ソレハ皆償還ヲ怠ツタ場合デアリマス、ソレガ回復シタ時分——彼ノ露西亞ガ日露開戰前非常ニ恢復シタノハ償還ノコトニ重キヲ置キ、巴里其他ノ市場ニ關係ヲ付ケテ、公債價格ノ維持ニ努メタ、是ガ則チ國ノ信用ヲ一新シタ原因デアルト思ヒマス、伊太利、埃及、土耳其、何レモ此減債ノ方法ガ立ッテ、殊ニ土耳其ハ外國カラ監督委員ガ這入ッテ減債ノ方法ヲ實行スルコト云フコトデアリマシタカラ、是等ノ國々ノ公債ハ近來價格ヲ上ゲテ來タ、我國ハサウ云フ外國ノ束縛ヲ受ケテ居ル國ト比較スベキ話デナイ、又非常ナル戰勝國ノ今日、外國ノ信用モ厚ク決シテ夫等ノ國ト比較シテ御話スル場合デアリマセヌガ、償還ノ途ヲ忘ルルト云フコトハ、非常ニ他日悔ヲ貽スト云フコトヲ覺悟シナケレバナラヌ、十八億ト云フ借金ヲ抱イテ居リナガラ、償還ト云フコトヲ棚ニ上ゲテ置クト云フコトハ、是ハ到底出來ヌコトデアル、サウ云フコトヲスレバ、他國ノ惡ルイ例ニ陥ルト云フコトヲ、覺悟シナケレバナラヌト考ヘ

○大石正己君 大分シマヒノ方ハ御議論ニ這入ッテヤウニ思ヒマスガ、チヨット二ツ程御尋ネテ置タイ、其一ノ箇條ハ、經濟的國ノ信用ヲ維持スルコト云フコトハ、今ノ減債基金ノヤウナ方法ニ依ッテ此市場ノ相場ヲ人爲的ニ維持スルコト云フコトガ、果シテコレガ利益ガアルカ、又國家ノ信用ト云フモノハアルダケハアル、ソレヲ人爲的ニ勉メテ外面ヲ街ウテ、信用ヲ維持スルコト云フコトガ、果シテコレガ本當ノ國ノ信用ヲ増ス次第アルカト云フト、餘程ハ疑問アル、成程國債ノ相場ノ下ルハ甚ダ宜シクナイ、成ルタケ維持シヤウト云フコトハ尤ノコトデハアリマスルガ、此減債基金制ニ依ッテ見ルト、詰リ利子ニ八千万圓拂ヒ、残りノ二千万圓ヲ以テ時ニ市場ノ形勢ヲ見テ之ヲ買フト云フ、申サバ詰リ投機的ノ一全クノ投機トハ申サヌガ、投機的ノ範圍ニ國家トシテ足ヲ踏込ムト云フ話ニナッテ來ル、是デハ列國ノ斯ウ云フ事ニ失敗シタ國モアルヤウニ承ッテ居リマスガ、ソコアラリノ御見込ハドウデアルカ、サウ云フ事デ經濟的信用ト云フコトハ確立スルモノデナイト思フ、果シテ或ハ貿易ノ輸出入ノ關係、若クハ一國ノ殖産興業ノ發達等、自然的ニ國ノ富ノ増加トカ、或ハ財政ノ持方等ニ依ッテ信用ト云フモノハ生ジテ來ルト思フドウモ此一面ニ二千万圓位ノ金ヲ以テ、市場ノ相場ヲ操ッテ往クト云フ危險ノコトヲ以テ、國ノ經濟ノ信用ヲ維持シテ行クコトハ如何デアルカト考ヘルノデアリマス、是ガ果シテ利益デアルヤ否ヤト云フコトハ、大イニ研究シナケレバナラヌト思フガ、ソコアラリノコトニ付イテ、當局者ノ御見込ハドウデアルカ、又一面財政計畫ノ上ニ缺損ヲ生ジテ居ル、此缺損ハ一年ニ止マラヌト思フガ、當局者ニ於テハ、ドウ云フ年度割ノ豫算ヲ立ツルカ知レヌガ、常識ヲ以テ言ヘバ、缺損ヲ來タス仕組ニナッテ居ル、此缺損アルニ拘ハラズ、一面ニ姑息的ニ二千万圓ノ金ヲ拂フト云フハ宜シイカ否ヤ、先ヅ常識カラ云ヘバ缺損ノ鈎合ノ開イテ居ルトコロヲ喰合ハセル、喰合ハセルト云フ方ニ此金ヲ向ケタ方が國ノ信用ヲ鞏固ニスルデハ無イカト思フ、成ルタケ豫算ノ缺損ヲ少ナクシヤウト云フ方ヲ用井ル、二千万ノ金ヲ以テ缺損ヲ減ラサユニスルガ近道デハアルマイカ、或ハ其缺損ハ缺損ヲ放ッテ置イテ、相場ヲ操ツル方ノ事ヲ遣ルガ有益デアル、斯ウ云フ御見込デアルヤ否ヤ、ソレニ付イテ少シク綿密ノ説明ヲ要スル點アル、減債基金制ツレ自身ハ、根本ニ於テ惡利ト云フノデハナイガ、斯ウ云フ姑息ノ仕組デハ目的ガ達セマイト云フノガ一つ、モウ一つハ列國ノ埃及ヲ始メテ借錢ヲ拂フ方法ガ立ッテ、唯今成效シタト云フコトヲ承ツタガ、ソレハ矢張政治ノ仕方ガ元ト借リテ居ル金ニ向ッテ拂込シテ往ク額ト、買ッテ居ル額ノ比例ニモ依ルノデ、ソコアラリニ付イテ成效ト一言ニ云ヘバ言ヘマスガ、ドウ云フ風ニシテ成效シタト云フコトガ明カデナケレバ、此減債基金案辯護ノ材ニハナラヌト思フ、因テソコアラリニ付イテ、一應説明ヲ得タイノデアル

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 此人爲的或ハ投機的ノ公債ノ價格ヲ維持スルハ、固ヨリ執ルベキ手段デナイト云フ疑ガアリマスガ、是ハ御尤ノ論デアリマシテ此度ノ公債ノ整理ハ即チ實力ニ依リ積リデアリマス、詰リ一時金ヲ借リテ買ッテ賣ッテリスルヤウナコトヲシマシタナラバ、是ハ甚ダ危險ノ政策デアリマス、隨分斯ヤウナ政策ヲ行ッテ國モアルカノヤウニ聞キマシタ、併シソレハ極ク馬脚ノ現ハレ易イ遣リ方デアッテ、是ハ財政上ニ於テ忌ムベキモノト思フ、併ナガラ此度政府ノ考ハ實力的ニ、即チ一億一千万圓ノ内

ノ力ヲアルダケ買ッテ償還シテ往クノデアリマスカラ、一文モ他所カラ金ヲ借リテ來テ、公債ヲ買ッテ値ガ宜クナッテ賣ルト云フヤウナ、サウ云フ人ヲ喘着スルヤウナ手段方法デハナイノデアリマス、デ唯投機的ノ仕事ハ是ハ謹マナケレバナラヌノデアリマスガ、相當ナル償還ノ元金ヲ供ヘテ、サウシテ非常ニ賣物ノ出タ時ハソレヲ買ッテ行キ、マタ賣物ノ無イ時分ニハ是ヲ抽籤シテ償還スルコト云フノデ、實力ノ手段デアルト考ヘマス、而シテ其金額ハ餘リ少イデハナイカト云フ御説デアリマシタガ、ソレハ金額ハ多ケレバ多イ程效力ガ多イニ相違ナイケレドモ、今日十八億ノ公債ノ處分スル上ニ於テ、先ヅ是ヲ以テ最低度ノ標準トシテ私ハ宜カラウト思ヒマス又是ダケノ資金ヲ備ヘマシタナラバ、必ヤ信用ト云フモノヲ十分ニ維持シテ往クコトモ出來ヤウカト考ヘテ居リマス、而シテ第二ノ御尋ノ此缺損云云ト云フ御尋デアリマスルガ、三十九年度ノ財政ノ上ニ於キマシテ生ジタ、四億三千万ト云フモノハ、是ハ即チ戰爭ノ引續キカラ生ジタモノデアル、即チ此軍隊ノ引揚デアルトカ、論功行賞デアルトカ云フヤウナ、戰爭ト同様、性質ニ於テハ毫モ異ラヌ一時的ノ性質ノモノデアリマスガ故ニ、是ヲ公債ニ仰グト云フコトハ、今日ニ於テ已ムヲ得ヌ、併ナガラ四十年度ニナッテ、尙其缺損ヲ生ズル場合ニハ、ドウスルト云フ御尋デアリマスルガ、此四十年度ニ於キマシテハ、今日デハ經常ノ歲出ト云フモノニ至リマシテノ財源ト云フモノハ、既ニ豫定シテアル、臨時ノモノニ付イテハ、如何ナルモノガ生ジテ來ルカ、今日ハ未ダ豫期スルコトガ出來マセヌ、其中ニ尤モ陸海軍ノ復舊費等ノモノモアリマスケレドモ、其金額等ノ如キモノモ今日定メ居ラズ、ソレカラシテ又事ノ緩急ト云フモノハ、四十年度ニ於テ一般ニ政治上ノ必要ヲ能ク調ベタ上デナイト、決定ガ附カヌコトデアリマス、其場合ニ於キマシテ、ソレナラバ大變ニ此列國ノ形勢ガ變ッテ來テ軍備ノ充實ヲ急ニシナケレバナラヌ、復舊ノ如キモ急ニシナケレバナラヌト云フ問題ガ起レバ、ソレハナカノ復舊費ガ二千万ニ千デハ足リナイ、或ハ一時ノ財源、即チ公債ニ據ルト云フ必要ガ其場合ニハ起ラヌトモ限リマセヌカラ、是ヲ緩ニスル道ガアッタナラバ、其財源ノ方法ニ付イテハ必シモ公債ニ據ラナクテモ宜カラウト考ヘルノデアリマス、而シテ縱ンバ缺損ガアッタシテモ、此公債ノ方ノ償還ヲ怠ルト云フコトニナッテ來ルト、財政ノ大體ノ根本ガ崩レテ來ルト思フ、財政ト云フモノハ何ガ元カト云ヘバ即チ信用、政府ガ借金ヲシタコロノ處分ニ付イテ、自分ノ國ノ信用ガ固マラナケレバ、ドウシテモ後トノ仕事ニ手ヲ延バシヤウガナイ、會社ニ致シマシテモ、會社ノ株券ト云フモノガ價ガナイ、其債券ガ價ガナイト云フコトデハ、會社ノ事業ノ擴張モ何モ出來ナイ、即チ此株券ノ拂込以下ニ下落シタ會社ト云フモノハ、手ノ出シヤウモ足ノ出シヤウモナイ、國モ亦然リ自分ガ有負ツタ借金ノ始末ヲ著ケテ其價格ガ十分維持ガ出來ヌ以上ハ、國家ノ發展ヲ將來ニ期スルコトハ出來ヌノデアリカラ、他ノモノハ差措イテモ、此公債ノ信用ヲ維持スルニ力ヲ費サナケレバナラヌ今日ノ場合デアリマス、是ハ殊ニ今度ノ政府ガ主張スルノデアリ、何レノ國、何レノ場合、即チ戰爭ノ後ニ於テハ是ヲ意ツタ國ハ皆戰ニ勝ツテモ負ケテモ——負ケタ國ハ勿論デアルガ、大變ニ衰ヘルト云フコトハ免レヌ、佛蘭西ノ如キハソレヲ努メタガ故ニ獨逸ニ負ケタニモ拘ハラズ、勢力ヲ比較的短期ノ間ニ恢復スルコトガ出來タノデアリマシテ、此借金ノ始末ヲ附ケズニ、其公債ノ價格ガ下落シヤウガ、信用ヲ失ハウガ構ハズ跡ノ始末ヲシテ往カウト云フ考ハ持ッタコロガ、到底出來ル譯ノモノデナイ、ソレ

デ是ハ能ク一ツ御考ヲ願ハナケレバナラス、ドウシテモ此今日ノ日本ノ最モ急務中ノ急務ナルモノハ、何デアルカト云フコトヲ御考ニナタナラバ、此公債ノ處分、即チ其價格ノ維持ト云フコトニ歸著シナケレバナラス、ソレガ出來テカラ後トニ初メテ、イロ／＼ナ仕事ニ手ヲ著テ往ク餘地ガ生ズル譯デアリマス、此問題ガ解決セラレ、是ガ十分ニ實效ヲ奏スルコトニナリサヘスレバ、將來如何ナル事業ガ起ツデモ、皆其信用ノ力ニ依ツテ進シテ往クコトガ出來ルノデアル、或ハ内地ノ鐵道ヲ整理スルカ、或ハ廣軌鐵道ニスルカ云フ問題ガアリマセウ、或ハ又港灣ヲ改築シテ輸出入ヲ便利ニスルコト云フ問題ガアリマセウ、ソレ等ハ何處カラ資金ガ出ルカ、イザレ會社法ニスルカ、政府ガ事業公債ヲ起ストカ、總テ金錢ノ問題ニナツテ來ル、其金錢ヲ廉ク取入レル工夫ヲシナケレバナラス、其金錢ヲ廉ク取入レル工夫ヲスルニハ、信用ヲ高クシナケレバ、其廉イ金ガ這入リヤウガナイ、万事方端戰後ノ問題ハ、公債ノ整理ニ歸着スルコト考ヘルノデアリマスカラ、從シンバ大石君ノヤウニ將來ニ缺損ガアルノニ、ソレドウスウト云フ御論ガアリマシタケレドモ、若シ缺損ガアルナラバ缺損ハ其支出ヲ見合セテモ、此方ノ處分ヲ早ク附ケナケレバナラスト確信シテ居リマス

○岡田治衛武君 本員ハ簡單ナル御尋デアリマスルガ、此二條ニ於テ「國債整理基金ニ充ツヘキ資金ハ毎年度一般會計ヨリ之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ルヘシ」トアル、而シテ其第二項ノ末文ヲ見マス「國債及其借換ノ爲ニ發行シタル國債ニ關スル分ハ年額一億千萬圓ヲ下ルコトヲ得サルモノトス」トアル、此事ニ付イテハ先刻ドナタカ御尋ネガアツデ、一億千萬圓ノ中デ、八千萬圓ノ利子ヲ引クト殘リガ二千萬圓位ノモノデアアル、是デナシ崩シ完済ガ出來ルカ否ヤト云フ、甚ダ杞憂ノ御尋ガアツタヤウニ思ヒマス、本員ハサウハ解シナイ、即チ其反對ノ尋ヲスル、是ハ「年額一億千萬圓ヲ下ルコトヲ得サルモノトス」トアルカラ、是ハ最下限デアルコトハ、大藏大臣ノ御説明ヲ待タヌデ分ツテ居リマスガ、一般會計カラ繰入ルモノガ、一億千萬圓ヲ最下トスレバ、上ガルコトヲ得ザル額ガナケレバナラスト思フ、一般會計カラ繰入レルモノハ、「一億千萬圓ヨリ下ルコトヲ得ス」トアツデ、ソレカラ以上ハ何程繰入レルヤラ、是デハ吾々ニハ分ラナイ、或ハ政府ニ於テハ、是ヨリ上ハ繰入レナイト云フコトガアルヤウニ思ハレル、或ハ第九條ニ於テ年々議會ニ提出ニナルカラ、ソレハ同意ヲ得ルト云フコトガアリマセウガ、兎ニ角一億千萬圓ヨリ以上ノコトハ、ドウナサル御積デアルカ、殊更ニ最上ヲ入レナカッタト云フ、政府ノ趣意ヲ御辯明ニナリタイ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ「一億千萬圓トス」ト御書キニナツデモ、ソレハ議論デアリマスガ、私ノ今主張シテ居ルノハ、一億千萬圓デアルケレドモ、之ヲ殖ヤスト云フコトニ付イテハ、何等ノ妨ガナイケレドモ、「一億千萬圓トス」ト書イテシマヘバ、是ガ確定シテシマフ、矢張餘地ヲ殘シテ「下ルヲ得ス」ト書イタノデアリマス

○岡田治衛武君 上ニ制限ハアリマセヌカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 上ニハ制限ヲ置ク必要ガナイノデス

○尾形兵太郎君 チヨット私ハ御尋ネ致シマスガ、成程此案ハ内外ニ對シマシテ國家ノ信用ヲ圖ルタメニ設ケラレタモノデアルト云フ、豫算總會及本會ニ於テノ大藏大臣ノ御説明ハ、比較的緻密デアツデ、條理誠ニ明白デゴザイマスカラ、能ク分リマシタガ、サ

テ其信用ヲ維持スルコト云フコトニ付イテ、還ス方法ヲ明カニ形式的備ヘテ置キマスレバ、公債ヲ持ツテ居ルモノハ安心スルコト云フコトモ、是モ尤ノコトデアラウト考ヘマスケレドモ、一ツ御尋ヲシタイノハ、過日豫算會ノ第一著ノ時ニ、西園寺首相ハ行政ノ整理ハ打切ダト言ハレマシタガ、更ニ大藏大臣ニ御尋致シマスガ、是ノ如ク公債ガ膨脹シ致シマシタ以上ハ——借金ガ十八億モアルト云フ以上ハ己レノ家ノ儉約ヲスルコト云フコトヲ、内外ニ示サナケネバ、借金ヲシテ戻ス方法ヲ講ゼズニ、自分ガ道樂ヲシ居ツタリ、何カシ居ツデハ、一向金主ハ安心致シマスमित思ヒマス、ソレ故ニ行政ノ整理ト云フコトハ、單リ唯金ヲ儉約スルコト云フコトニアラズシテ、行政組織ト云フモノヲ統一シ、行政組織ト云フモノヲ簡易ニシテ、而シテ成ルベク無駄ナ金ヲ使ハヌヤウ、無駄ノ役人ヲ使ハヌヤウ、儉約ヲ盡シテ、此借金返ス資本ヲ得ヘルト云フ事實ヲ示サネバ書附ニ書イテモ、ドウモ金主ハ容易ニ承知スマイト思ヒマスガ、然ルニ大藏大臣ハ唯今ノ行政組織ノ簡易ト云フヤウナ、今ノ事柄モ總テ所謂首相主義デ打切ルト云フ御積デアリマスカラドウ云フ……

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 行政整理ノ問題ニ付イテハ、首相ノ御答ニナリマシタ通デ、從來ノ今ノ係リ合ニナツテ居ル問題ハ打切ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ唯今尾形君ノ御尋ニナリマシタ通り、成ルベク此政務ノ改善ヲ努メルトカ、行政組織ノ簡易ヲ計ル、是ハ既ニ政府ノノミ關係スルコトヂヤナイ、一般ノ日本ノ商業ノ關係ニ於テモ、制度ノ改善ト云フコトハ必要トスル、ソレ等ノコト、云フモノハ、固ヨリ時々刻々努メテ居ルノデゴザイマシテ、ドンナニ贅澤ニナツデモ、ドンナニ惡ルクナツデモ手ヲ著ケヌト云フ意味デハナイト考ヘマス

(尾形兵太郎君「打切デハナイノデスナ」ト呼フ)

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 イヤ、從來ノ關係ハ打切ル……

○島田三郎君 私ハ簡單ニ質問致シマスルガ、信用ヲ高メナケレバ公債ノ經營ニ差支ル、外資ヲ輸入スルカ、イロ／＼ナコトニ差支ル、ソレ故戰爭費消費シタコロノ、其金ヲ始末ヲ付ケルト云フノガ第一ノ急務デアル、此大體ノ精神ノアルコトニ付テハ、誰シモ異論ハナイコトデゴザイマス、併ナガラ其事實ノ上ニ付イテハイロ／＼ナ疑問ガアルコト、考ヘマス、私ハ豫算委員デハナイガ、豫算委員ノ中デ既ニ説明セラレテ、御了解ニナツテ居ルコト、或ハ本員ガ問ヒマスルコトハ既ニ定メテ居ルコトデ、繰返スト云フヤウナ虞ガアリマスカラ、餘儀ナイコトデアリマスカラ、本員ノ思ツテ居ルコトヲ、此所述べマス、唯今大臣ハ戰後ノ續キトシテ臨時ニ募ルノガ四億二千萬バカリアル、是ハ一年ノコトデアルカラシテ、當年ニハ續カナイノデアルカラ宜シイ、斯ウ云フコトデアリマスガ、一年デ戰時ノ有様ヲ引續イテ居ルダケノ整理ヲ付ケル、公債ヲ募ルト云フコトハ、是ハ仕方ガナイト思フ、其内ニ論功行賞ノ一億五千萬圓ヲ含マレテ居ルト申シマスカラ、之ヲ除イテ後トノ事ハ一年ダケ引續イテヤルト云フコトハ、本員ハ餘儀ナイコト、思ツテ居リマスガ、併シ豫算ノ方面ヲ見ルト大凡十年バカリ繼續スルコトイロ／＼ノ事業ガ八千萬圓バカリアリマスノデ、是ハ矢張公債デ支辨スルコト云フヤウニナツテ居リマス、若シ本員ノ誤解ガアレバ、此ノ項ニ付イテハ訂正ヲ加ヘラレンコトヲ望ミマスガ、果シテ本員ノ申ス通デアルナラバ、是ハ一年ギリデナク、凡ソ十年バカリヲ年々續イテヤラナケレバ

ナラヌト思フ、斯ウ云フヤウニ八千万圓ヲ年々募ルト云フヤウナコトデハ、到底信用ハ繫ゲナイト思フテ居リマス、他國ノ例ヲ引イテイロノ、説明セラレマシタケレドモ、本員ノ信ズルトコロニ據リマスレバ、租税ノ中カラ公債ヲ段々還シテ往クト云フコトナレバ、是ハ信用ヲ全體ノ上ニ鞏固ニスルコトノ、謬ラザル方針デアリマスケレドモ、一方ニマダ底ガ抜ケテ居ル中へ、水ヲ注ギ込ムヤウニ公債ヲ募ル、サウシテ是ト同時ニ二千万圓ヅ、還シテ往クト云フコトハ、是ハ朝三暮四ノ謀デアデ、決シテ信用ヲ得ルトコロノ方法デアリマイト思フテ居ル、且募リマス時ニハ、募ルトコロノ費用ガ入リマスノデ、或ハ手數料デアルトカ、或ハ運動ヲスルトコロノ費用デアルトカ、イロノ、雜費ガ入リマス、其他割引ガ入リマス、同ジコトナレバ還スベキモノハ、正シキコトコロノ收入カラ還シテ往キマシテ、其高ヲ表ニ付シテ、一年ニ是ダケヅ、減ラスト云フコトヲ示シタナラバ、是デ信用ハ繫イデ往ケルモノト思フテ居リマス、然ルニ手數料ヲ拂ヒ、雜費ヲ拂ヒ、イロノノ費用ヲ引イテ損ヲシツ、尙八千万圓位ヲ十年ノ間募ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ、サウシテ貳千万圓年々還スト云フコトニシテ往クト云フ、是ガ一ツノ御説明デアル、是モ誤解デアッタ御訂正ヲ望ミマス、此ガ十八億ト云フモノニ限ツテ、此減債基金ノ方法デアリマスツト、後ニ募ラタコロノ公債ノ整理ニ付イテハ發表シテ居リマセヌ、サウ致シマスツト同ジ證書ノ公債デ、減債基金ニスレバ、一方ニハ信用ヲ維持セラレ、ニモ拘ハラズ一方ニハ維持セラレヌト云フ其間ニ差ガ生ジヤシナイカ、差ヲ生ジタナレバ、大イニ前途ニ對シテ影響ヲ及ボシヤシナイカ、又是ノ如キ方法ヲ以テ操ラテ公債ヲ維持スルト云フコトハ、政府ヨリ智慧ノ低イ人ニ對シテハ維持セラレカモ知レマセヌケレドモ、諸外國世界ニ向ツテノ信用ハ恐ラク日本政府ガ姑息ヲ以テ、之ヲ瞞着スルコトハ出來マイト思ヒマスカラ、正直ニドレホド收入ガアツテ、ドレホド儉約ガ出來テ、ドレホド償還ガ出來ルト、事ヲ確カニ定メタナラバ、總令壹千萬圓ヅ、償還シタコロデ、是ニ付イテ日本帝國ノ信用ガ維持セラレ、ト、斯ウ信ジテ居リマセヌ、唯今ノ疑モ、三箇條バカリノ御答ヲ望ムノデアリマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 此將來マダ公債ヲ募ルモノガ、八千万圓ヅ、年々掛ルト云フ御尋デアリマシタガ、ソレハ何カ御間違デハゴザイマセヌカ、サウ云フ表ハナイ筈デゴザイマス

○島田三郎君 豫算ノ上ニイロノ、事業ヤツテ居ル、アレハ臨時ニナツテ居リマスカ、行賞ノ内カラ公債ヲ割イテ、アレヲ充テルヤウニ見エマスガ、サウデハナイノデアリマスカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ能ク譯リマシタ、ソレナレバ三十九年度ノ豫算ノ上ニ於キマシテハ、日露戰役ニ關係シマス費用ノ中、八千萬圓バカリノモノガゴザイマスカラ、其中デ公債ヲ募集スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ或ハ公債ヲ募集セズニ濟ムカモ分ラヌノデス

(島田三郎君「或ハ分ラヌノダト云フト、或ハ募ルカモ知レヌト云フコトニナリマスカ」ト呼フ)

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ段々申上ゲマス、是カラ——ソレハマダ此露國カラ受取ルベキ費用モゴザイマスルシ、其八千万圓ガ殘ラズ受取ルトカ云フヤウナコトヲ申スノデアリマセヌ、ガ此俘虜ノ費用ノ事ハ、マダ金額ガ極メテ居リマセヌ

○島田三郎君 是マデ承ツテ居ルノニ、一億五千万圓ノ費用ガ來ルトカ聞イテ居リマスガ、ソレ等ノ事ハ未定ト致シマシテ、八千万圓デケラ他ノモノカラ融通シナケレバ公債ヲ募ラナケレバナラヌ、十年スルト云フ事ニナツテ來ル、ソレデ此費用ガ八億ト云フコトニ思フタノデス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレデ先ヅ現在ノトコロニ於テハ、公債支辨ニ據ルト云フ計畫ニナツテ居リマスガ、是ハ前申シマシタ日露戰役ニ關スル八億ノ費用ノ一部分デアリマシテ、會計ノ整理上臨時事件費特別會計ト云フモノハ、成ルヘク早ク之ヲ締切ル必要ガゴザイマシタカラ、出來ルデケ一般會計ノ方ハ編入ノ出來ルモノヲ編入シタカラ、其片割レガ這入ツテ來テ居ルノデス、ソレ故ニ臨時軍事費ト略々性質ヲ同ジクスベキモノデアリマスカラ、二十九年度ニ於テハ、差向キ公債支辨ニ據ルト云フ計畫ヲ立テマシタケレドモ、其中實際四十年以後ニモ起ルコトデ又現在先刻御尋ニナツタヤウニ、軍艦其他兵器、或ハ出師準備ノ復舊費ト云フヤウナモノニ付イテハ、多クノ金額ヲ要スルノデ、是ハ其充實ヲスルコトヲ急トスル場合ニハ、公債ニ據ラザルコトモアルケレドモ、時勢ガ許スナラバ、成ルベク之ヲ寬ニシテ實フコトガ出來ルナラ、公債ニ據ラズニ往ク途モアルデラウト考ヘルガ、ソレ等ノモノハ四十年度以後ニ至ラサレバ決定シナイト云フコトヲ御答シタデアツテ、八千万圓ノ臨時費ト云フモノハ、年々其儘募ル、ソレガ十年續クト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、又サウ云フ事實ハナイト信ジマス、ソレカラ十八億圓ノ整理ノ方法ヲ立テ、其他ハドウスルト云フ御尋デアリマシタガ、其他ノモノニ付イテハ略々同様ノ整理方法ガ既ニ從來着イテ居リマスカラ、是其儘ニ存續致ス考ヘデアリマス、此度求メマスノハ、即チ日露戰役ニ關スル十八億ノ公債ニ付イテハ處分法ヲ求メルノデ、將來ノモノハ略々同様ナル方法ガ立テ居リマス、即チ一方ニハ確實ナ方法ヲ立テ他ガ拔ケテ居ルデハナイカト云フ、御心配ハナイト思ヒマス

○島田三郎君 今ノ續デ、唯今ノ八千万圓ガ甚ダ不明瞭デアリマスガ、此八千万圓ト云フモノハ、本員ノ見ルトコロデハ、是ハ十年ノ間續イテヤルベキ繼續ノ事業デアツテ、其繼續ノ事業ガ茲ニ現ハレテ居ルモノガ八千万圓バカリデアリマス、是ハ何レノ資金カラ入レルト云フコトガ極マデ居ラヌカラ、勢ヒ公債ニ據ルモノト推測スルノハ、蓋シ至當ノ推測ト思ヒマス、サウ云フコトハアルマイト云フバカリデハ安心ガ出來マセヌ、今一ツハ此經常費ノ公債ガ減債基金ニ依ラズシテ、信用ガ維持セラレ、ナラバ、何故ニ此種類ノ公債デケラ減債基金ニ依ラナケレバ信用ヲ維持スルコトガ出來ヌト云フノデスガ、此所ノ矛盾ヲ訝カルノデス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 第一ノ御問ノ八千万圓ト云フノハ少シ計算ガ違ツテ居ルヤウニ思ヒマス、サウ云フモノハアリマセヌノデス、ソレデ何カソレハ數字上ノ行違デアラウト考ヘマスノデ、是ハ別ニ御話シタ方ガ問答ノ手數ヲ省クコト、考ヘマス、何カ御間違ノヤウニ考ヘマス、ソレカラ今ノ從來ノ分ハ云々、從來ノ公債ニ付イテハ是ハ專ラ內國ノ公債デゴザイマスシ、又金額モ其一箇年ノ償還ノ資金ハ三千六百萬位デアリマシテ、別ニ方法ヲ設ケルト云フコトノ必要ハナク、一定ノ計畫ヲ立テ、ヤツテ居ルノデスガ、此度ノハ内外ノ市場ニ互リマシテ、金額モ十八億ト云フ大キナ金額デアリマス、是

へ毎年ノ費用が一億一千万圓掛ルト云フ大キナモノニナリマスカラ、特ニ其方法ヲ明カニシテ置ク方ガ、將來計畫ヲ、實施スルニ付イテ確實デアリ、又内外ニ其事ヲ示スニ足ルト考ヘルノデアリマス、併ナガラ此第二條ヲ御覽ニナリマスレバ、從來ノ資金モ一途ニ入リマスノデ、特別會計法ノ中ニ一般會計カラ一緒ニ受ケ入レマシテ、詰リ從來ノト、今度ノトヲ合セタ資金ガ出ルノデゴザイマス、之ヲ合併スルト一億四千六百萬バカリニナリマス、ソレデ今度ノ方法ノ中カラ從來ノ分ヲ省イタ譯デアリマス、此度ノト一緒ニ這入ルノデス

○島田三郎君 尙今ノトコロデ、後來世界ノ形勢ガ變ジテ、軍備ヲ急ニシナケレバナラヌコトガアレバ、卒サ知ラズ斯ウ云フコトデアリマシタガ、唯今ノ形勢ナレバ、次期ノ年度ニハ公債モ募ラズ此有様デ續ケラレト云フ御考デスカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 其事ハ豫算委員會ニモ屢々御質問ノ出マシタ問題デアリマシテ、希望ハ此公債ハ生産ニ屬シマスモノノ外ハ募ラヌト云フ考デ居リマスガ、併ナガラ此計畫ト云フモノガ、マダ陸海軍カラ出テ來ズ、或ハ滿韓經營ノ事等、諸般ノ問題ガ出テ參リマセヌカラ、其結果ニ依ッテハ矢張公債ノ必要ガ起ラヌトモ言ヘナイ、今日公債ハ募ラヌト云フコトヲ明言スルコトハ、未ダ其時期ニ達シテ居リマセヌ

○島田三郎君 滿韓經營ノ事トカ、軍備充實ノ事ハ、敢テ世界ノ形勢ガ變ゼザルモ、必ズ出テ來ル事實デアルト推測サレ、然ラバ其公債ハ必ズ募ルモノト推定スルノハ差支ナイ、當然ノ事デアル、普通ノ見識ヲ持ッテ居ルモノハ、斯ク確定スルノガ至當ト思ヒマス、故ニ一方ニハ外債ヲ返却シツ、一方ニハヨリ多クノ公債ヲ募ルコト、信ジマス、ソレヲ其様ニ信ズルト信ジナイノハ互ノ胸中ニアルコトデスカ、一般ニトハ申シマセヌガ、其様ニ信ズルノガ正確ノモノト私ハ信ジマス

○荒川五郎君 大藏大臣ノ御説明ニ借金ヲ還ス方法ト、ソレカラ社會ノ經濟ヲ向上セシムルト云フ趣意ハ、至ッデ宜イノデス、所ガ此法律ヲ以テ、ソレガイケルカト云フコトハ、國家ノ前途ヲ考ヘル人ハ能ク靜カニ考ヘナケレバナラヌト思フ、ソレガタメニ英吉利デモ「ビット」ノ失敗ヲ致シタ所以ト思ヒマス、一方ニハ借錢ヲシナケレバナラヌ、一方ニハ年々其借錢ヲ以テサウシテ借錢ノ擔保ニスルコト云フコトハ、全ク自家撞著ノ話デ、ソレデ以テ公債ノ價格ガ維持ノ出來ルト云フコトハ、決シテ信用ニナラヌコトト思フ、況ヤ此公債ノ價格ナリ、或ハ世間ニ行ハレテ居リマス株券ノ價格ナルモノハ、是ハ其時ノ經濟社會ノ狀態ニ依ルベキモノデアッデ、實際今後ノ世界ノ形勢等ニ依ッテ變動スベキモノデアレバ、此法ヲ以テ維持スルコトハ出來マイト私共ハ考ヘル、況ヤ今日我租稅ハ殆ド租稅法ノ原則ニ據リマシテ、租稅力ノ最大限ヲ超過シテ居ルト云フ、今日經濟論者モ段々アル、私共此經濟ニ付イテ前途必シモ悲觀スルモノデハナイガ、今日日本ノ非常稅——今日租稅ニ於テ最大限ヲ超過シタルモノガ、澤山アルト思フ、其位民力ヲ涸渴シテ居ル場合ニ、借錢ヲスル、基金法ヲ設ケルコトハ、今日ハ此方針ヲ以テ行フコトガ出來マセウガ、之ヲ前途ニ維持スルカ否ヤト云フ大問題、即チ英吉利ノ「ビット」ノ財政ニ失敗致シタ、是ガ好キ手本デアルト思ヒマス、ソコデ大藏大臣ハ曩ニ大石君ノ質問ニ、露西亞ノ何カラ言ハレマシタガ、併シ其減債基金法ヲ立テ、ソレヲ償還ガ出來ナカッタコトニ付イテ、一向御説明ガナカッタ、ソコヲ心配スル、是ガ出來タ儘ニ、ズンノ

行キサヘスレバ、何モ吾々ハ前途ヲ憂フルコトハナイ、然ルニ財政トサウシテ此方法ノ前途ニ於テハ、是ガ諸外國ニ在ッタルコロノ減債基金ノ失敗ヲ前途ニ見ルガ如キコトガアッタナラバ、今日少々價格ヲ維持シヤウト云フ僅ノ考ヨリシテ、一層將來ニ困難ヲ來シハシマイカ、是ガ吾々ガ最モ憂慮ニ堪ヘヌ次第デ、財政當局者ノ賢明ナル御判斷ヲ承リタイト、曩カラ謹聽シテ居ルガ、其點ニ付イテハ更ニ御説明ガナイ、唯目的ハ借錢ヲ殖ス方法ト經濟社會ノ悲運ニ向フヲ防ガ方デアルト云フ、其方法ハ誰モ惡ルイコトハナイ、善イコト、思フノデアリマス、其イケヌト云フコトヲ考ヘルモノハ、即チ今日ノ經濟社會ノ狀態ニ照シ、曩ニ云ツタヤウニ租稅ノ最大限力ヲ過ギテ居ルヤウナ時機デ、今借錢ヲシテヤラナケレバナラヌト云フカ、ソレガ出來マイ、斯ウ云フノガ、最モ大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒタイ所以デゴザイマス、其次ニハ曩ニ云ツタ尾形君ガ御尋ノ行政整理ノ打切ト云フハ、此席デノ首相ノナンデハゴザイマセヌガ、大藏大臣モサウ云フ仰セガアリマシタガ、併シ此戰爭以前ニ行政整理ト云フコトガアル、是モ政費ノ節減ト云フコト、行政整理ト云フコト、ヲ混同スル御話デヤナイカト思フ、今日戰後ノ財政ハ、總テ諸般ノ行政機關ハ、膨脹シテ居リマスカラ、政費モ餘計要ルト云フノデ、政費ノ節減ヲスルコトハ、ムヅカシウゴザイマセウケレドモ、行政整理ト云フコトハ、必シモ政費ノ節減デハナイ、或場合ニ依ッテハ、行政整理ヲスルタメニ、政費ガ殖ヘルカモ知レヌ、其行政ノ整理ト、財政ノ膨脹ヲ防グトカ、或ハ其行政費ノ節減ト云フコトハ、全ク別問題ト致シマスレバ、戰爭以前ニハ行政整理ハ必要デアッタガ、今日ハ其必要ガナイト云フ、其打切ト云フコトハ、甚ダ謂ハレナイイコト、本員ハ存ジマス、此二點ニ付イテ——私ハ其政費ノ膨脹ハ今日ノ進運ニ伴ウテ已ムヲ得ヌガ、行政整理ト云フモノハ、全ク別問題デアルトスレバ、無論行政ノ整理ハスベキモノデアルガ、戰爭ニ依ッテ打消サル、モノデハアルマイト思ヒマス、此二點ヲ御尋シマス、何カ大藏大臣ニ無理ヲ申サウト云フ積デヤナイ、國家ノ前途ガ果シテ此目的デ往ケルカ否ヤト云フコトニ付イテ、憂慮ヲ持ッテ居リマス、ドウカ明カニ御説明ヲ願ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 御尤ナ御尋デゴザイマシテ、此戰後ノ財政ト云フコトニ付キマシテハ、御同様ニ深ク心配ヲ致シマス、是ノ如キ大ナル戰ヲシテ、是ノ如クニ勢力ノ範圍ガ擴張シタ上ニ於テ、如何ニシテ宜イカマルデ、是ハ御一新ノ時ノ廢藩置縣ノ問題ドロチャナイ、大キナ問題ガ茲ニ生ジテ居ルノデ、是カラ先國家ノ力ノ許ス限相當ナ方法ヲ案ジテ其既ニ得タ勢力範圍ト云フモノ、經營ヲ益々圖テ往カナケレバナラヌ、ソレカラシテ將來益々發展ヲシテ往クトコロノ、外交上ノ方針ト云フモノヲ立テ、往カナケレバナラヌ、隨分今日ハ重大ナル問題ガ澤山生ジテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ事ヲ悉皆問題ガ具體的ニ揃ッテシマヘバ、誠ニ諸君ニ満足ナル御答ヲ與ヘルコトガ出來ルニ相違ナイガ、時勢ハソレヲ待タヌノデアル、即チ日ニノ發展シテ往クトコロノ時勢ニ應ジテ計畫シナケレバ、段々遅レルト云フコトニナル、即チ非常ニ大キナル問題ハ續出シテ居ッデ、其問題ヲ殘ラズ總テ完全ニ解決スルコトハ、一年モ二年モ掛ルデアラウト考ヘル、ドナダガ御考ニナッデモ、仕方ガナイ、サウシテ見ルト將來ヲ見渡シテ大イナル財政ヲ組織シテ、基礎ヲ御互ニ今日ハ極メテ往カナケレバナラヌ、即チ大イナル建築ヲシテ往クニハ、基礎ヲ今日シテ置カナケレバナラヌ次第デアリマセウト考ヘマス、其上ニ付

キマシテハ、先づ第一ニ戦争ニ付イテノ始末ヲ著ケタイ、ソレカラシテ、又今日生シテ居ルト  
コロノ財源ノ不足ヲ斯ウシテ補フコト云フコトガ、差向ニ決定シタイコトデアッデ、即チ委員  
ニ付託サレタ二大問題デアル、一大問題ノ方ハ今説明シマセウガ、其目的ニ付イテ此  
提案ヲ致シマスコトニ付イテハ、多少不満足ノ御考ガアリマセウ、固ヨリ善クシタイコトハ  
政府モ望ムノデアリマスガ、先づ此提案致シマスモノヲ以テ、進行致シマスレハ、前途  
誤ルコトハナシ、而シテ租税ニ於キマシテモ、成程今日ハ随分重イ稅アル、戦争ガナク  
テ此稅ガナシナラバ、ソレヨリ良イコトハアリマセウガ、既ニ舞臺ガ變タ今日ニ於テハ、ツラ  
イ稅モ負擔シテ、舞臺ヲ能クノ繁昌セシムルコトノ必要ガ茲ニ生シテ來ルデアリマス、  
將來ニ於キマシテハ段々法案モ出シマス考デゴザイマス、又關稅定率條約ナドモ追々改  
正ニナリマスレハ、ソレカラ收入モ生シテ來ル滿韓ノ經營ガ段々進行シマスレハ、段々我  
國ノ富モ増シテ來ルヤウデ、將來ニ於キマシテ必ズサウセシメナケレバナラヌト信ズルデア  
リマスガ、現在ニ於テハ、成程重イ稅デアリマスケレドモ、負擔ニ堪エヌト云フ稅デアハ  
ナシ、決シテ繼續シタタメニ國ガ潰レルト云フ稅デアハナシ、ソレデ、即チ今日ニ於テ諸般ノ  
事情ガ大ナル建築ヲスルニハ、先づ基礎ヲ今日置クデアッデ、其建築物殘ラズノ物ヲ論  
ズルト云フコトハ、餘程御無理ナ注文デアルト考ヘマス、ソレカラシテ此整理ノコトモ、其  
事情ノ下デアリマスカラ、從來ノ整理云々ト云フ關係ハ改良スベキコトガアッデモ、改良ヲ  
セヌト云フコトハ申サレヌデ、アリマセウ、又サウ云フ事ヲ言ハレル答モナイト存ジマシテ、吾  
吾ニ於テモ十分ニ改良スベキモノガアレバ、改良スルコトニ努メル、其結果トシテ費用ノ  
増スモノモ自然ニ生シヤウト考ヘマス

○渡邊修君 私ハ誠ニ簡單ナ質問デアリマスガ、先刻大石君カラノ御問ニ對シテ、大  
藏大臣ノ御答ニ、此法ハ公債ガ廉ク——廉イノヲ買ッデ高クナッデ賣ルト云フ商利の  
コトハシナイト云フコトヲ伺ヒマシタガ、全體サウ云フノデアリマセウカ、是ハ矢張公債ガ  
廉ケレバ買フシ、高クナッテ賣ラソレバ賣ル、甚シキニ至ッテハ額面以上デモ、政府ガ利益ト  
見タ買ッデ置イテ、高クナッテ賣ル、矢張相場ヲスルト云フヤウナ法案ダト信ジテ居リ  
マスガ、サウデハナシデアリマスガ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ別ニ相場ヲスルト云フ法案ヲ立ッダノデア  
リマセウ、ソレハサウ云フ法案デアハナシ、ツマリ此年々繰入レテ往ク整理資金ト、整理公  
債トシテ募集シタ金トヲ以テ返スノハ返シシマッデ、年々抽籤ノ出來ルモノハ抽籤シテ  
往ク、償却ノ出來ルモノハ償却シテ往ク法デアッデ、其間ニ市場ノ都合ヲ見テ、買フ場  
合モアリマセウ、又賣ル場合モアリマセウ

○渡邊修君 サウデセウ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 イロ／＼アリマセウケレドモ、併ナガニ元來目的ハ  
即チ年々極メタ金額デ償還シテ往ク、斯ウ云フコトニナルデアリマス結果ハ……

○大石正己君 島田君カラモ質問ニナリマシタガ、此問題ガ一方ニ缺損ノアルト云フ  
コトガ餘程此問題ヲ通過スル上ニ於テ、參考トシナケレバナラヌコトデアル、若シ先ハ借  
リルニ及バヌ、斯ウ云フ見込ガ付ケバ、此問題ハ輕ク通過スルカモ知レヌ、此一方ニ借  
リルニ及バヌカ、借リナケレバナラヌカト云フコトガハキリシナイ、是ハ私ハ思フニ陸海軍  
ノ費用ガ一番多イ、ソレデ今日ハ是デ止メテ置イテ、此次ニ陸海軍大臣ニ出席シテ

質ッデ、見込ヲ聽ク、サウストモット是ハ這入ル金ガ通常極デ居ルカラ、是カラ先臨時ナ  
リ、經常ナリ、兎ニ角立テテナケレバナラヌト云フ金ノ見積ニ依テ公債ヲ募ラナケレバナラ  
ヌト云フコトガ起ッテ來ルカラシテ、此次會ニ陸海軍大臣ノ出席ヲ願ッデ、陸海軍ノ費  
用ニ付イテ、今年ハ豫算ニ分ッテ居ルガ、來年カラノ見込ヲ聞イテ、其上デ此問題ヲ議  
スルコトニシタラ、便利デアラウト思ヒマスカラ、今日ハ是デ散會シタラ如何デス

(賛成ノ)又「反對」ト呼フ者アリ

○委員長長谷場純孝君 大石君ノ建議ニ賛成ノ聲ガアリ、又反對ノ聲ガアリマス、  
反對ノ聲ガアル以上ハ、採決致シマス、大石君ノ動議デス——建議デス、今日ハ是デ  
散會シテ、サウシテ次回ノ會議ニ陸海軍大臣ノ出席ヲ請フト云フ事ニ、賛成ノ御方ノ  
起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○委員長長谷場純孝君 大多數デゴザイマス、ソレデ今日ハ是デ散會致シマス、ソ  
レカラ御諮リヲ致シマスガ、次會ハ御註文ガゴザイマスレバ、此所デ極メテ置キタイ、ソレ  
デナケレバ公報ヲ以テ……

(委員長ニ御任セ致シマス)ト呼フ者アリ

○委員長長谷場純孝君 宜シウゴザイマスガ

(「宜シイ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデ今日ハ散會致シマス

午後三時五分散會

明治三十九年一月三十日印刷

明治三十九年一月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局